

施策3-1-4 子どもをすこやかに育てるための支援

担当課 健康推進課

施策が実現できたときの状態

- ・定期的に乳幼児健診を受診することにより、成長・発達の確認とともに病気を早期に発見し対応することができます。また、相談・指導を受けることにより、安心して子育てをすることができます。
- ・乳幼児期から、食生活を始めとした、望ましい生活習慣が確立できています。
- ・予防接種を無料で受けることができ、対象となる病気を予防することができます。
- ・課題のある乳幼児に対する支援があり、その児に合った療育を受けることができます。
- ・子育てサポートセンター・託児ボランティア・子育て支援センター等、地域のサポートがあり、ゆとりを持って育児ができ、子育てが楽しいと思えるようになります。
- ・定期的な歯科健診とフッ化物を活用したむし歯予防事業を実施することにより、むし歯の無い健康な子どもが増加します。

平成26年度の重点課題

- ・産後うつ病や育児不安を持つ母親を早期に発見し、適切に対応することで育児不安の軽減を図ります。
- ・子育て中の母親、父親が自己肯定感を高め、自信を持って前向きに子育てができるよう支援します。
- ・わんぱく広場でのミニ心理学講座の開催
- ・乳幼児健診事業において、望ましい食生活や排泄（オムツの使用）等の生活習慣の指導に努めます。

施策の達成（実現）に向けた今後3カ年の取り組みと方針

- ・乳幼児健診や乳児家庭全戸訪問事業を通して、核家族や育児に課題のある家庭に対し、望ましい育児環境を整えられるよう支援を行います。
- ・一般的に育児ストレスが大きい産後の母親に対し、家庭訪問や健診を活用し、産後うつ病や育児不安を持つ母親を早期に発見、対応し虐待という最悪の事態を回避するよう努めます。また、母親に負担がかかる育児について、父親や家族、地域みんなで子育てをしていく環境を整えていきます。
- ・子育て中の母親、父親が自己肯定感を高め、自信を持って前向きに子育てができるよう支援します。
- ・就学前最後の健診である「3歳児健診」においては、関係機関の協力も得ながら、全数把握に努めます。
- ・食生活を始めとした望ましい生活習慣の確立に努めます。
- ・こどものむし歯有病者率は年々低下傾向にあります。むし歯保有者の二極化や生活習慣に課題もあることから、引き続き、フッ化物を活用した予防事業に取り組みます。

施策目標値の達成状況

